



つながぎ つむぐ

☆☆☆☆☆☆☆☆ 「えべつ型コミュニティ・スクール」

令和4年6月3日
第1号
江別市教育委員会
総務課・学校教育課

市内小中学校の「えべつ型コミュニティ・スクール」の取組の様子について発信を行ってきた「えべつCS通信」が、昨年度末までに20号を数えました。学校関係者の皆様や地域・保護者の皆様などたくさんの方々にご覧いただき、誠にありがとうございました。

今年度からは、新たに各中学校区の「小中一貫教育」の取組の様子についても情報を発信していくため、江別市教育委員会通信「つながぎ つむぐ」にリニューアルして発行してまいります。この「つながぎ つむぐ」を通して、江別市の取組や各中学校区、各学校のコミュニティ・スクール、小中一貫教育等の取組にご理解とご協力をいただければと思います。よろしくお願いたします。

江別市の小中一貫教育

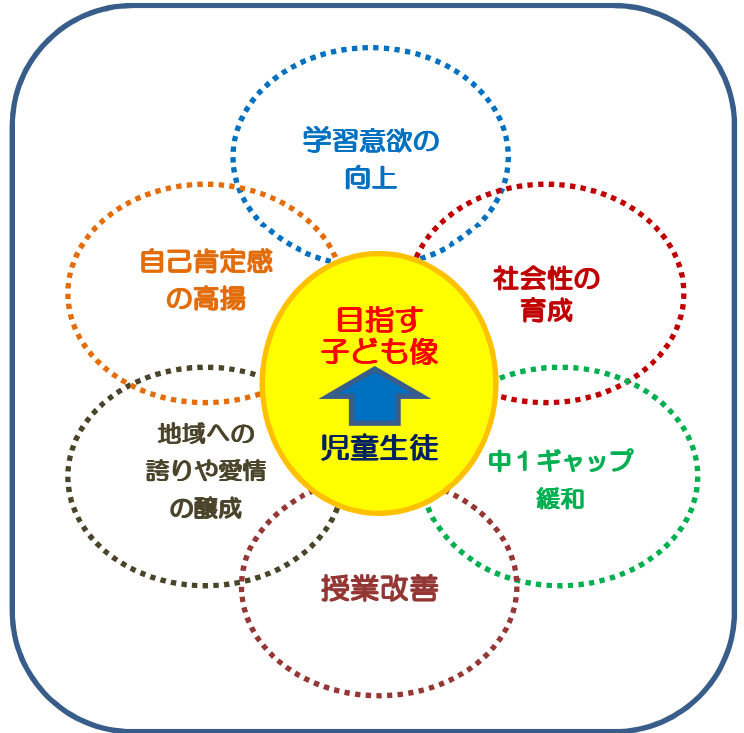
学校教育には、短期の成果と長期の成果を求めるものがありますが、義務教育では最終的に「中学校の卒業生の姿のありよう」が問われることとなります。江別市では、「夢を持ち、夢を語り、夢の実現に向けて行動する子ども」を育成していくことを学校教育の目標としており、その目標の達成に向けた取組の重要な柱の一つとして「小中一貫教育」に取り組んでいきます。

具体的には、今年度から江別第二中学校区に小中一貫教育を先行導入し、次年度からその他の7中学校区にも導入します。「小学校と中学校が学習指導や生徒指導の課題や情報を共有し、義務教育の9年間における『一貫した指導』や『系統的な指導』とそれらを可能にする『相乗的・補完的な指導』を推進することにより、各中学校区の『目指す子ども像』を実現する。」ことを重点にして推進していきます。

- 『目指す子ども像』
学校と家庭、地域で共有した中学校卒業時の目標である「15歳の春の姿」
- 『一貫した指導』
学習規律や生活規律（スタンダード）を揃えた指導等
- 『系統的な指導』
児童生徒の発達段階や強み・弱みを踏まえて作成した教育課程に基づく指導等
- 『相乗的・補完的な指導』
中学校登校や乗り入れ指導、児童・生徒会交流活動、部活動体験等

この取組は、小中学校の教職員が協力・協働し、家庭や地域と連携しながら、中学校区の実態に応じて各種の取組を進めていくことで、右記のような効果をあげることが期待されます。

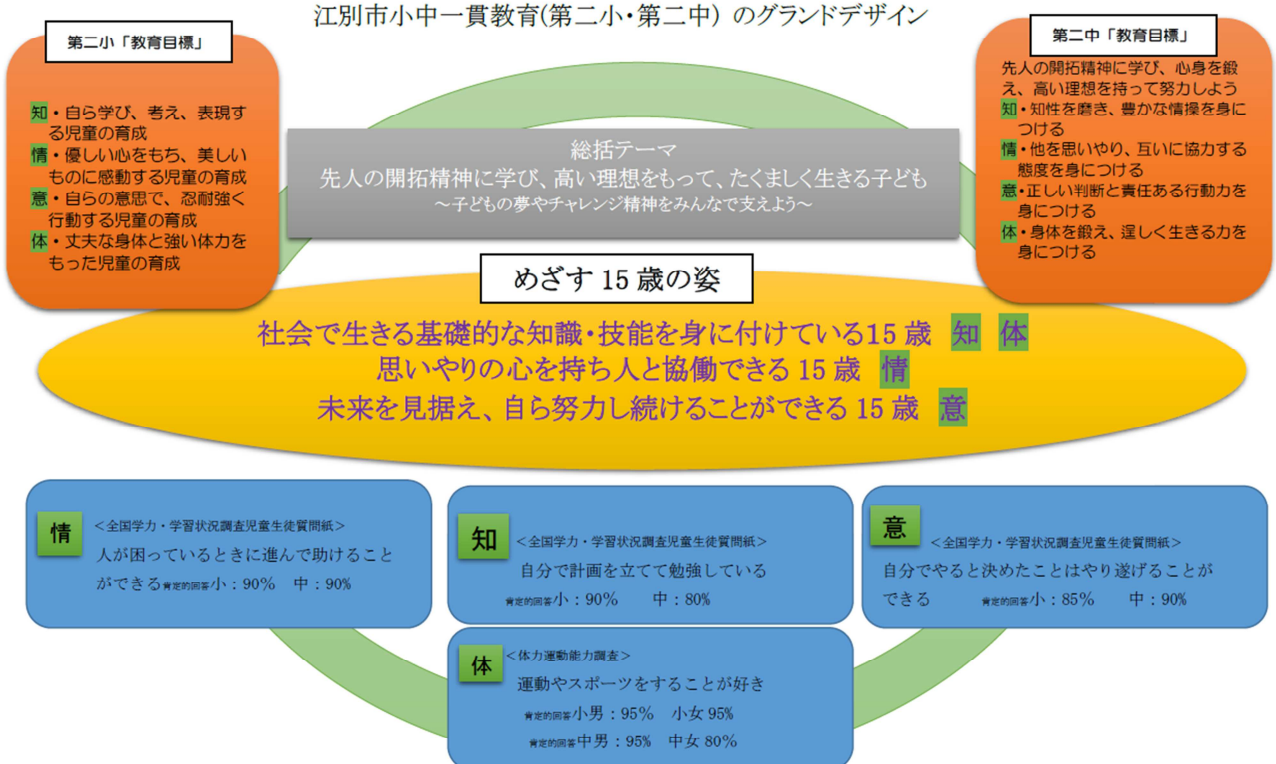
＜小中一貫教育の取組で期待される効果＞



令和4年度の江別第二中学校区の取組

江別第二中学校区では、目指す子ども像（総括テーマ）を達成するために、より具体的なサブ目標（めざす15歳の姿）と数値指標を掲げ小中一貫教育を推進しています。

① 目指す子ども像



② 一貫した指導

③ 系統的な指導

<p>令和4年度 保存版</p> <p>よくわかる江別第二小・第二中</p> <p>第二小 〒069-0817 江別市野幌代々町39番地 TEL: 383-0015 FAX: 383-0016</p> <p>第二中 〒069-0817 江別市動機代々町33番地 TEL: 382-2426 FAX: 382-2569</p>	
<p>学習</p> <p>筆箱の中</p> <p>ノート</p> <p>学校に置いていく教科書類</p> <p>宿題・家庭学習</p> <p>水泳・スキー学習</p> <p>テスト</p>	<p>生活</p> <p>登校</p> <p>欠席・遅刻等</p> <p>校外での約束</p> <p>給食等</p> <p>服装・持ち物等</p>
<p>その他</p> <p>主な行事</p> <p>小中一貫に関わる活動</p> <p>車での来校</p> <p>学校への連絡</p> <p>マナーとホームページ</p>	



小4「太陽光発電」を学ぶ



小6ベトナムの方との交流



中1「SDGs」について

小中学校9年間を通して生活科・総合的な学習の時間の中で「SDGs」を学びます！

「よくわかる二小・二中（NEW）」や「二小・二中家庭学習のすすめ」による一貫した指導を目指しています。

何年生でどんな内容を教えているか、小学校ではどの部分に課題があったか、中学校ではどの部分を補完するかなどを見通して指導を行います。

④ 相乗的・補完的な指導



中学校登校や児童会・生徒会合同挨拶運動、合同地域清掃、部活動見学・体験等を行います。